

## 夢アイデア作品募集

### 3 内牧「鍋蔓線」の千年を経過した3つの神社の参拝

阿蘇神社は、古墳時代「1581年」紀元前 493年に創建されている。

西小園八幡宮は、奈良時代 元平3年 731年に創建 現 1289年である  
夫婦銀杏 モクロの木「阿蘇には3本」のみ 明治に築かれた石垣に  
特徴がある。

湯浦八幡宮 平安時代 寛和元年 985年 創建 現在 1035年である  
神社絵馬は 男性的で、トラや猛禽類が多い 地域の古老の手造りの  
参道と駒犬さんが特徴である。2年に1回の波野の神楽が奉納される。  
神社前の杉の古木も印象的である。

西湯浦八幡宮 平安時代 正暦 4年 993年創建 現在 1027年  
俗に 七夕様と言われ、織姫と牽牛の伝説の通り、祭事には、男女の  
参拝者が多い。素人演芸もあり、夜遅くまで賑わいを見せる。  
神社の銀杏の古木 藪椿の古木が4本あり、花の時期は赤いジュタン  
を敷き詰めた様な光景は幻想的である。森に囲まれた、神秘的な 神  
の聖地である。

この3つの地域を（鍋）の蔓の様に湾曲に迂廻しているので、通称（鍋蔓線）  
と呼ばれている

何れにしても、この3社は、阿蘇の歴史を語る古い館であり、大観峰  
の隣の 長倉古墳 1万7千年前に人類が住み、生活をした証拠が今  
も土器等の発掘調査で明らかであり、阿蘇のカルデラ内の水が引くに

つれ、山裾に定住し、稲作文化に移行した形跡が「湯浦地区」の宮田から発掘されている。外輪の山の中腹には、古墳群が至所に存在する。この 3ヶ所の神社を、ガイド付きで、(3社参りで) 参拝すれば歴史も古く、それぞれに特徴を有しているので、面白く崇拝出来るのではなかろうか・・・

---